

# 子ども委員会「札幌の子どもにとって大切な権利」に関する提案と報告

## 〈提案〉

## 「札幌の子どもにとって大切な権利」の項目

### 提案シート一覧表（別紙1）

子ども委員は、第3回、第4回の2回にわたる子ども委員会での議論や、身のまわりの大人や友だちなどの子どもの意見を参考に、4つのテーマにそって、「札幌の子どもにとって大切な権利」の名称と、その権利が大切だと思ふ理由を考え、提案シートを作成しました。

### 第5回子ども委員会での意見（別紙2）

第5回子ども委員会では、「札幌の子どもにとって大切な権利」について、まとめの討議を行いました。前半のグループ討議では、子ども委員が「自分が最も大切だと思ふ権利」を発表し、その理由などについての意見交換を、また、後半の全体討議では、「自分らしさ」と「わがまま」の違い、検討委員会や札幌市に対して伝えたいことについての意見交換を行いました。この討議結果の概要を、子ども委員会での意見として、検討委員会に報告します。

「提案シート一覧表」と「第5回子ども委員会での意見」の見方について

（注1）提案シート一覧表（別紙1）の「番号」欄に、A、B、Cのグループ名と発言番号を記載している場合がありますが、これは、第5回子ども委員会で子ども委員が「自分が最も大切だと思ふ権利」をグループ討議のなかで発表したときの発言番号と同一です。

第5回子ども委員会での意見（別紙2）に記載されている権利については、対応する提案シート一覧表（別紙1）の番号を付記しています。

（注2）今回の子ども委員会の提案は、検討委員会が検討中の条例項目案第3章「子どもの基本的な権利」（第15回検討委員会配布資料「最終答申書に盛り込む項目案の骨格」2.条例項目案の個別内容：第3章1.～4、21項目）に関わる提案です。

そこで、子ども委員の作成した提案シートの各項目と、第5回子ども委員会で子ども委員が発表した「自分が最も大切だと思ふ権利」のそれぞれについて、検討委員会が検討している21項目の中から関係が深いと考えられる項目の小見出し（「検討委員会が検討している21項目表」参照。）を選び付記しました。

## 「検討委員会が検討している 21 項目表」

(第 15 回検討委員会配布資料：最終答申書に盛り込む項目案の骨格 2. 条例項目案の個別内容「第 3 章子どもの基本的な権利」より)

( ) カッコ内が小見出し

小見出しは、子ども委員会事務局による追加

### 1. 自分らしく生きる権利

子どもは、自分らしく生きることができます。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されます。

- 1 自分の考えを持ち、行動すること (自分で考え行動する)
- 2 個性や他人との違いを認められ、尊重されること (個性の尊重)
- 3 ありのままの自分でいられること (ありのままの自分)
- 4 プライバシーが不当に侵されないこと (プライバシー)

### 2. 豊かに育つ権利

子どもは、さまざまな経験をとおして豊かに育つことができます。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されます。

- 1 学び、遊び、疲れたら休むことができること (学び遊び休む)
- 2 健康で規則正しい生活を送ること (健康な生活)
- 3 多様な人間関係の中で育つこと (人と関わり育つ)
- 4 自らに関係することを、年齢や成長に応じて自分で決めること (自分で決める)
- 5 やりたいことにチャレンジし、失敗しても新たなチャレンジができること (チャレンジする)
- 6 多様な芸術文化に触れ親しむ機会があること (芸術文化)
- 7 札幌の文化や雪国の暮らしを学び、自然と触れ合う機会が持てること (自然)

### 3. 参加する権利

子どもは、自ら参加することができます。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されます。

- 1 家庭、育ち学ぶ施設、地域、行政等の場で、自らに関係する事柄について、自分の思いや意見を表明できること (意見表明)
- 2 表明した意見は尊重され、年齢や成長に応じて適切な配慮がなされること (意見の尊重)
- 3 参加に際し、適切な情報提供などの支援を受けられること (情報提供)
- 4 仲間をつくり、集まること (仲間)

### 4. 安心して生きる権利

子どもは、安心して生きることができます。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されます。

- 1 命が守られ、平和と安全のもとに、安心して暮らすこと (命と安全、安心)
- 2 かけがえのない存在として、愛情を持って生まれること (愛情)
- 3 いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること (いじめなどから守られる)
- 4 子ども及び家族の障がい、民族、国籍、性別などを理由としたあらゆる差別及び不利益を受けないこと (差別や不利益を受けない)
- 5 自分を守るために必要なことを知ること (必要なことを知る)
- 6 状況に応じて、身近に相談ができること (相談)

## 提案シート一覧表

【テーマ1】一人ひとりが自分らしく生きるために必要なことは何だろう？

番号	区分	権利の名称	説明	小見出し
1	小学生	自分自身を考える時間を与えられる権利	まず、自分らしさを知ることこそが自分らしく生きていくための一歩だと思えます。人は一人ひとり違う自分らしさを持っているので、自分らしさを知るためには、自分自身で考えることが大切だと思えます。	
2	小学生	子ども一人ひとりが自由に意見を表明できる権利	自分が自分らしく生きるためには、人の意見で物事を左右されずに自分の意見で物事・生活などを行なえればよい。	
3	小学生	子どもが自分のペースで生きられる権利	人についていくよりも自分のペースで進んでいくことが大切。	
テーマ4-19再掲	小学生	子どもがやることを認める権利	大人は何でも「ダメ」の一言で片付けてしまって、やることを認めてはくれない。だから、子どもがしたいと思ったことに対して「いいよ」と言ってあげること。	
テーマ4-20再掲	小学生	親が子どもを束ねない権利	親は子どものすることを何でも決め付けて、自由にやりたいこともできないから。	
4	中学生	一人一人の個性を大事にする権利	個性があるということは、自分らしく生きているという証拠。だから、個性を大事にする=自分らしく生きることができる、ということだと思う。	
5	中学生	子どもが自分の意見をもち自分で考え行動できる権利	大人に言われたことだけではなく、自分の思ったように行動することは自分らしく生きることにつながると思うから。	自分で考え行動する
6	中学生	時と場合に応じて、子どもが自分らしく活動する権利	TPOに応じて、意見を発表したり、感情を表したり、個性を出せる権利。	
7	中学生	自由に個性を表現できる権利	自分が好きな時に自分の個性を邪魔されずに表現できる権利。(意見レポートの結果 2の子どもの意見などを踏まえて)	
8	小学生	自分らしくのびのびと育つこと	大人に決め付けられていても、大きくなったら一人できめないといけなくなるから、今から、自分で決めることが大切。	
9	高校生	子どもが独立する権利	独立と聞くと一歩はみ出るという感じがします。しかしそうではなく、独立とは一歩前に出る事だと思えます。あまり良い例ではありませんが、町内会の班長をしていると、ある寄付を集めることがあります。ぼくは子どもなので集めには行きませんが、まず班長が200円と書くと、その後の人は皆200円と書きます。そうすると、次班長が500円と書きました。また面白いことに、皆500円と書きました。これが人間の普通の考えだと思えます。こうではなく、僕は、私は、1000円だすよ、うちは600円出すよと、自分の考えを出す。人に左右されず、自分らしさを出す。これが本当の独立ではないかと思えます。	
10	小学生	子ども(一人一人)の個性を大切にできる権利	子ども一人一人の個性を大切に、みんな違う権利。	
11	小学生	子どもが自分のペースで生きる権利	みんな同じペースで生きると個性がなくなってしまうと思うから。ただし、約束事は守らなければならない。	
12	小学生	一人の人間として認められる権利	子どもも一人の人間であり、自分の意見・考えをもっていると認められる権利。	
13	中学生	子どもが、自身のことを周りに認めてもらえる権利	「自分らしさ」は外に出るものだから、自分が内から見ることは少ないと思う。だから自分ではない、外から自分を見る人、つまり周りの人に自分の「自分らしさ」は見える訳だから、自分のことを周りに認めてもらえる、理解してもらえれば、自分らしく生きられると思う。	個性の尊重
14	中学生	子どもが人間として大切にされる権利	子どもがひとりの人間として大切にされることは、自分らしく生きるための基本になり、自分自身も大切に出来ると思うから。	
15	中学生	自分らしく生きる権利	精神的に自分にあった環境で生きていける権利。のびのびと、自分のペースで、個性や他人との違い(障がい等)を認められ、人の一人として尊重されること。	
16	中学生	子どもが尊重される権利	「個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重される」これは、子どもの権利アンケートにもありました。一人ひとりが自分らしく生きていくには、「自信をもつ」ことが大切だと考えます。自信を持つようになるには、周りから認められるということではないでしょうか。	
17	中学生	比べ合わない	比べてほしくない、比べられたくない。(子どもの権利条約の2条とも関係)	ありのままの自分
18	中学生	自分を大切にすること	将来にも関係するから。	
19 C-4	中学生	子どもが秘密を持つ権利	たとえ大人(親・先生)にでも、ばらしたくないければ、言わずに心の中にしまってもいい、という権利。	プライバシー
20 B-6	中学生	子どもに与えられている権利を正しく知ること	自分や、その他の子どもが持っている権利を正確に知ること、他人の権利を侵していないかどうか知ることでもある。	学び遊び休む
21	小学生	自分とは違う子どもと自由に接することのできる権利	同じ学校の友だち、他学年、障がい者、様々な人々と接して、互いの違いを見つけることができる。	人と関わり育つ

22	中学生	子どものことを決めるのは最終的には子どもが決めることのできる権利	自分らしく生きるためには、自分のやりたいことをちゃんとやるのが大切。でも、だからと言って、親が子どもに何もしないというわけではない。親は子どもに情報を与えればいい。そして、子どもがやりたいと思ったらやらせればいい。	自分で決める
23 C-2	高校生	学校を選べる権利	出会いと、学びの場である学校の選択が正しければ、色んなことが楽しくなって自分らしく居られると思います。	
24	小学生	やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗してもやり直すことができる。	自分で「これに挑戦しよう!」と考え、失敗しても「次はこうしてみよう」とやり直せる。	チャレンジする
25	小学生	子どもが意見を持てる権利	子どもであるというだけで意見が否定されることなく、大人に聞いてもらえる権利	意見の尊重
26	小学生	一人ひとりが大切に育てられ、命が守られる権利	一人ひとりの個性と生命が保障されること	命と安全、安心
27	中学生	子どもが大人に大切にしてもらう権利	言葉や肉体的な暴力から守られ、適切なしつけを受け、健康の保障される環境に置いてもらえる権利。	愛情
28	小学生	障がいのある子どもと普通の子どもの仲間として遊ぶこと。	障がいがある子どもがみんなと遊べば、差別がなくなると思ったから。	差別や不利益を受けない

## 【テーマ2】成長していくために必要なことは何だろう？

番号	区分	権利の名称	説明	小見出し
1	小学生	子どもが幸せに暮らせる権利。	子どもが毎日楽しく過ごし、幸せに暮らせる権利。	学び遊び休む
2 B-4	小学生	教育を自由に受けられる権利	「お金がないからあの学校はダメ」など、経済的な理由に影響されず、公立でも私立でも自由に学校を選ぶことができる権利。	
3 C-1	小学生	子どもが遊べる権利	たくさん遊ばないと体力がつかないから。でも、やることをやってからのほうがいいと思います。	
4	小学生	疲れたときは休むことができる	生きている中で（特に子ども）、ずっと働いたり考えたりしていたらストレスがたまって、生きる自信がなくなる。	
5	小学生	好きな事について学べる権利	自分が興味を持ったことを身の回りのものを存分に使って調べることができる権利。	
6 A-6	小学生	教育をしてもらう権利 （「教育」とは、環境や親からのしつけ、勉強など知識を学ぶこと）	自分は、人間が成長していくためには経験と知識、行動が大切だと思います。知識と経験は教育により身につくのだと思いますが、何よりも行動をしないと無意味だと思います。	
7	中学生	教育を受ける権利	子どもは社会人になるために知識をえることが必要だし、最近知識がないとなかなか職業にもつけないと思うから。	
8	中学生	学校へ通う権利	ただ教育を受けるだけでは知識しか増えないから、学校での集団生活から学べることも、将来生きる力になると思うから。	
9	中学生	未来をつくれる権利	遊び、学び、表現して、これからの役に立てる経験を積んでいける権利。また、それを理解してもらえ権利。	
テーマ1-20再掲 B-6	中学生	子どもに与えられている権利を正しく知ること	自分や、その他の子どもが持っている権利を正確に知ること、他人の権利を侵していないかどうか知ることできる。	
テーマ3-22再掲	高校生	元気に遊べる権利	自分が小さい時あまり外で遊ばなかったのを悔やんでいるので、猿みたいに遊べるのが大事だなあとします。	
テーマ3-23再掲	小学生	「衣食住」があるちゃんとした環境に住む権利	生きていくために最低限必要な「衣食住」を得ることが保障される権利	健康な生活
10	中学生	規律を整えること	子どもにとっては不自由と感じても、規則正しい生活は成長の上で最も重要。	
テーマ3-24再掲	中学生	安全な食を得られる権利	体の健康を維持して生きるためには、食事が基礎だと思うから。	
テーマ3-25再掲	中学生	リズム良い生活を送る権利	正しい生活リズムで友人と共に生きていく権利。	
11	高校生	サプリメント！	現代のちびっこも忙しくて不規則でマックが大好きだから、これからは必要！	
12	小学生	子どもが自分一人では生きていけないことを知る権利	子ども（人間）は一人では生きていけない。だれかの支え、はげましがあって生きていけるから、自分も自分中心で生きているわけではないということ。	人と関わり育つ
テーマ1-21再掲	小学生	自分とは違う子どもと自由に接することのできる権利	同じ学校の友だち、他学年、障がい者、様々な人々と接して、互いの違いを見つけることができる。	
13	中学生	子どもが自分自身の考えで友達を作ることが出来る権利	子どもが成長していくうえで一緒に遊んだり泣いたり笑ったりできる友達はかせないものだから、自分の考えで友達を作ること成長していくために必要なことだと思うから。	
テーマ4-21再掲	小学生	自分で自分のことを決められる権利	自分のことは他人に決められず自分で決められる権利。	自分で決める
14	中学生	子どもは将来進む道を自分で決め、学ぶことができ、それを邪魔されない権利	進む道が危険でない限り、大人はその道を子どもから奪うことができなく、子どもはその権利を主張できる権利。	
15	中学生	目標を持つことのできる権利	目標を持てればがんばることができる。たとえくじけても、簡単にはあきらめないと思う。というよりは、あきらめられないと思う。そういう目標を親は持たせてあげるためにも、いろいろなことを教えたりしてあげれば良い。そして、子どもの目標を達成できるように、全力で支えてあげるのも親の仕事の一つだと思う。	
テーマ4-22再掲	中学生	責任を持つ権利	頼ったり決められるのではなく、子どもだって自分で物事を決断したいときがある。そんなときは、自分で責任を持って決めることができる権利。	
16 C-2	高校生	生活環境を選べる権利	自分の良い場所を伸ばしたり、好きなことをするために、こんな権利があったらなと思いました。	
テーマ1-23再掲 C-2	高校生	学校を選べる権利	出会いと、学びの場である学校の選択が正しければ、色んなことが楽しくなって自分らしく居られると思います。	
17 A-2	小学生	自分で自由に夢をもつ権利	自分で人に指示されずに自由な夢をもち、それに向けて努力できる権利。	チャレンジする
18 A-1	小学生	子どもが経験をやる権利	子どもがやりたいと言っているものを、親は「ダメ」と言ってやらせてくれないことがあるから、どんなことも経験することが大切なので、やりたいと思うことをやらせてあげること。	

19	小学生	子どもが自信を持って行動できる権利	何事も自信を持ってチャレンジできれば、のびのびと成長していくことができる。	チャレンジする
20	中学生	やり直す権利	失敗が人の命に関わらない限り許され、やり直し学べる権利。	
21	中学生	将来の夢をもって成長していける権利	夢をもって、何かにチャレンジできる。もしも失敗したとしても、休み、また自信をもってチャレンジしなおせる権利。また、それをサポートしてもらえる権利。(テーマ 1,2,7、テーマ 2,3)	
22	中学生	たくさんのことを経験できる権利	経験しないと成長できないことがたくさんあるので、たくさんのことを経験してもいい、という権利。(意見レポートの結果 2, 3, 4, 5を踏まえて)	
23 B-3	中学生	子どもを認める権利	「やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗しても、やり直すことができる」これは、子どもの権利アンケートに出たもの。今、子どもは表現が足りないと言われていますが、その理由の一つに「失敗したらどうしよう」という恐れがあると思います。やり直すことを認めることにより、のびのびと自分の意志を發表し、伝えていけると思います。大人が、意見を發表しやすい環境づくりを。	
24 A-3	小学生	豊かな自然で、みんなと遊んだり、のんびりできること	豊かな自然のある町などで、過ごせば、ストレスなどで病気になることもないと思った。	自然
25	高校生	子どもが生かされる権利	子どもにかかわらず、大人にも言えることだと思います。ただ生きているのではなく、自分が社会に必要とされている、生かされていると感じることが成長へとつながっていくことだと思います。また、生きていく上では、命が第一です。命とは生存するもとなる力となるものです。なので、命があって、疲れることが出来る、働くことができる、遊ぶことができるなど、いろいろな事を通して成長することができると思います。	命と安全、安心
26	小学生	親が愛情をもって接してくれる権利	親の愛情は子どもの何よりの宝だから。	愛情
27	小学生	イジメから守られる権利	イジメから守られるということは、「いつイジメを受けるんだろう」とビクビクしながら成長しないで、仲の良い友達と楽しく過ごすことが保障されること。	いじめなどから守られる
28 A-4	中学生	子どもが成長を見守られ話を聞いてもらえる権利	自分を見守り何かあったときに助けてくれる存在、自分ひとりでは判断がつかないときや、自分が思ったことを伝えられる存在が必要だと思うから。	②)相談

## 【テーマ3】子どもが安全で安心して健康に生きていくために必要なことは何だろう？

番号	区分	権利の名称	説明	小見出し
1	小学生	健康な状態を保つために最善をつくしてくれる権利	病気やかぜにならるように、インフルエンザ予防接種などの、かぜ又は病気を予防できることはしてくれること。	命と安全、安心
2 B-5	小学生	防犯対策など、安全な権利	最近では犯罪が多いので。	
3	小学生	命が守られること	一人では生きていけない。赤ちゃんは親がいないとダメ。子どもにも親が必要。社会で生きていて、それがはじめて分かる。	
4 C-6	小学生	誰からも愛され、安全で安心して心地よい環境の中で暮らせること	一人では生きていけない。赤ちゃんは親がいないとダメ。子どもにも親が必要。社会で生きていて、それがはじめて分かる。	
5	小学生	守られる権利	不審者などにおそわれたときに大人に守られたり、子どもではたいしょできないときに助けられる権利。	
6	小学生	子どもの権利が尊重される権利	子どもの権利には、守られる権利、安全な食を持てる権利などがあるので、権利が尊重されれば、安全で安心して健康に生きていけると思います。けれどもその代わりに、同等の義務があると思います。	
7	小学生	安全な環境が整うこと	クリーンな環境や不審者のでない校区、安全な食を持てることを総合した権利。	
8 B-2	小学生	子どもが事件・事故に合わず安心して暮らせる権利	地域の人が協力して不審者などのパトロールを行なってくれる。	
テーマ1-26再掲	小学生	一人ひとりが大切に育てられ、命が守られる権利	一人ひとりの個性と生命が保障されること	
9	中学生	子どもの安全が守られる権利	命は大切なものだから、その命が危険な状況にあれば安心して健康には生きていけないと思うから。	
10	中学生	生きる権利	危険なときは大人に命を守ってもらう権利。	
11	中学生	安心できる権利	安全な場所で、心豊かに暮らす権利。	
12	中学生	大人に守られる権利	子ども一人だけではどうやっても安全になれない場合もあるので、大人にしっかりと守られる権利。(意見レポートの結果 1, 9, 12, 13などを踏まえて)	
13	中学生	家庭にある程度のよゆうを持つことのできる権利	家庭が生活で精一杯になっていたら、ちゃんとした物をたくさん食べられるとは思えない。それに、親が働いたりして、いない所が多い。そんな家庭で、安全や安心など言っていられない。なので、子どもが何人いるかや、子どもは何をしているかなどによって、その家庭にお金をあげれば良いと思う。そうすれば、生活に必死になることなんて、ないと思う。	
14	高校生	子どもが保護される権利	子どもとは、18歳未満の事というおり、やはり子どものうちは親の保護があり、安全で健康に生きていけると思います。	
テーマ2-25再掲	高校生	子どもが生かされる権利	子どもにかかわらず、大人にも言えることだと思います。ただ生きているのではなく、自分が社会に必要とされている、生かされていると感じることが成長へとつながっていくことと思います。また、生きていく上では、命が第一です。命とは生存するものになる力となるものです。なので、命があって出来る、働くことができる、遊ぶことができるなど、いろいろな事を通して成長することができると思います。	
15	小学生	子どもが愛される権利	愛することは子どもにやさしくしたり、子どもがまちがったことをしていたらやさしく教えてくれることだと思います。まわりの人が子どもを愛してあげると、子どもも人を愛せるから。	愛情
16	小学生	子どもが大人を頼る権利	子ども達だけで何かをしようとするのではなく、周りの大人が支えて、子ども達を育てていくのだから、安心して生きていくために、「大人」が必要だということ。	
テーマ2-26再掲	小学生	親が愛情をもって接してくれる権利	親の愛情は子どもの何よりの宝だから。	
17	中学生	人を信じる権利	信じることを守る権利。	
テーマ1-27再掲	中学生	子どもが大人に大切にしてもらう権利	言葉や肉体的な暴力から守られ、適切なしつけを受け、健康の保障される環境に置いてもらえる権利。	
テーマ2-27再掲	小学生	イジメから守られる権利	イジメから守られるということは、「いつイジメを受けるんだろう」とピクピクしながら成長しないで、仲の良い友達と楽しく過ごすことが保障されること。	いじめなどから守られる

18	中学生	子どもが守られる権利	「いじめ、体罰から守られる」これは、子どもの権利アンケートでもありました。子どもが「安心」して生きるためには、必要不可欠なことです。また、いじめなどがなければ、「安全」になります。これらのことは、「大人が子どもを見守る」ことが重要です。子どもも、それがわかれば安心できます。	いじめなどから守られる
テーマ1-28再掲	小学生	障がいのある子どもと普通の子ども仲間として遊ぶこと。	障がいがある子どもがみんなと遊べば、差別がなくなると思ったから。	差別や不利益を受けない
19	小学生	子どもが気軽に相談できる権利	子どもがいつも苦しいことにしぼられつづけるのではなく、誰かに相談すれば気が楽になれるから。	②1相談
20	中学生	子どもが、周りの人に相談できる権利	登校拒否の子どもや、いじめられている子ども、いじめてしまっている子どもなど、どの子どもでもなかなか表に言えない悩みを持っていると思うから、何か相談しやすくなる環境が欲しいと思う(=安心)。	
21	中学生	悩みを誰かに相談できること	学校の先生などにもっと気軽に相談しやすくする。安心して相談できる環境づくり。	
テーマ2-28再掲A-4	中学生	子どもが成長を見守られ話を聞いてもらえる権利	自分を見守り何かあったときに助けてくれる存在、自分ひとりでは判断がつかないときや、自分が思ったことを伝えられる存在が必要だと思うから。	
22	高校生	元気に遊べる権利	自分が小さい時あまり外で遊ばなかったのを悔んでいるので、猿みたいに遊ぶことが大事ななあと思います。	遊び学び休む
23	小学生	「衣食住」があるちゃんとした環境に住む権利	生きていくために最低限必要な「衣食住」を得ることが保障される権利	健康な生活
24	中学生	安全な食を得られる権利	体の健康を維持して生きるためには、食事が基礎だと思うから。	
25	中学生	リズム良い生活を送る権利	正しい生活リズムで友人と共に生きていく権利。	

## 【テーマ4】意見を表明したり、参加したりするために必要なことは何だろう？

番号	区分	権利の名称	説明	小見出し
1	高校生	子どもにとって大切な環境	子どもが自分の思っていることを表明したり参加しやすい環境をつくるのが大切だと思います。しかし、どこでも子どもにとって良い環境があっては子どもは成長しないと思います。これではただの贅沢になりかねません。ぼくは寮生活をしていますが、はっきり言ってよい環境ではありません。でも、この苦勞を辛抱し卒業するときには、きっと大きな自分のパワーになっていること信じ、毎日励んでいます。これらの良い環境、悪い環境すべてを合わせて子どもにとって大切な環境だと思います。	意見表明
2	小学生	子どもの意見を聞く権利	例えば、子ども用の「目安箱」を置いて、その意見に大人がきちんと回答するなど、子どもの意見に確実に大人が接することができる仕組みをつくることで保障される権利。	
3	小学生	子どもが自分の意見を言う権利	自分らしさにもつながるし、自分の気持ちを伝えるには意見を言うことが大事だから。	
4	中学生	意見を持ち発表する権利	個人の意見は尊重され、発表しても何も言われない権利。	
5	中学生	考え、伝える権利	学んで、考えて、伝える。未来をつくるためにも必要な「発言」を認める権利。	
6 A-5	中学生	自分の意志を表現できる権利	参加するのも、自分の意志が必要だから、自分の意志を表現できる権利。(今回、自分で考えた)	
7	中学生	子どもが自由に表現する権利	「自分の意見を自由に言い、表現することができ、表明した意見は尊重されること」これは子どもの権利アンケートでもありました。まずは、自由に表現できる環境づくりが大切だと思います。	
8	高校生	お互いの個性を尊重する権利	自分を押し通すだけでなく、相手の意見も聞く相互の関係を作れる権利があれば素敵だなとおもいました。	意見の尊重
9	小学生	自分の意見を自由に言い、表現することができ、表明した意見は尊重されること	発表するときに、自信が必要。尊重されなかったら、自信がなくなる。	
10	小学生	一人ひとりの意見が尊重される権利	一人ひとりの意見が尊重されなければ、意見を表明しても参加していることにはならないし、かといって一人の意見が尊重されても周りの人が参加できなくなると思います。	
11	小学生	子どもが自由に意見を言い、尊重される権利	子ども一人ひとりが自由に意見をいい、その意見を尊重されることが出来る。	
12	中学生	子どもが、自分の意見を聞いてもらえる権利	自分の意見を伝えようとしても、相手が耳を傾けてくれなくて、その意見が対象とされなかったら困るから。聞いてもらえれば、もしその意見があまり良いものではなくても「こうだからダメ」と理由も言ってくれると思う。	
13	中学生	表明した意見は尊重される権利	自分の意見が軽く受け止められただけで尊重されなければ、参加することもできなくなってしまうから。	
14	中学生	子どもの意見が尊重される権利	意見が無視されるということはひとりの人間として受け止められていないことだと思うから。	
15	小学生	表明した意見をバカにされたりしない権利	せっかく表明したのにあざ笑うようでは、表明した人に失礼だから。	
16	中学生	子どもがいる場では、子どもがちゃんとと言えるふんいきを作る権利	子どもは簡単に、意見を言ったりすることが出来ない人が多い。そんな人にわけのわからない言葉を使ったりしている中で、意見を言ってくれ、なんてとうてい無理。簡単なことを簡単に言うのは簡単。でも、難しいことを簡単に言うのは難しい。でも、そういう事をできる人がいないと、子どもには、何が言えるはずがない。	情報提供
17	小学生	友だちや親と意見をかわし、意見を分かり合うこと	他の人の意見をいれることで、自分の意見も分かってくれるから。	仲間
18	中学生	様々な活動に積極的に参加する権利	ボランティア活動などに、子どもが参加しやすいようPRなどを行なう。	自分で考え行動する
20	小学生	子どもがやることを認める権利	大人は何でも「ダメ」の一言で片付けてしまって、やることを認めてはくれない。だから、子どもがしたいと思ったことに対して「いいよ」と言ってあげること。	
21	小学生	親が子どもを束ねない権利	親は子どものすることを何でも決め付けて、自由にやりたいこともできないから。	
19	小学生	自分で自分のことを決められる権利	自分のことは他人に決められず自分で決められる権利。	自分で決める
22	中学生	責任を持つ権利	頼ったり決められるのではなく、子どもだって自分で物事を決断したいときがある。そんなときは、自分で責任を持って決めることができる権利。	

## 第 5 回子ども委員会での意見

### グループディスカッション

グループディスカッションでは、これまでの議論や宿題を踏まえて、子ども委員に、「自分が考えるもっとも大切な権利」を発表してもらいました。  
そして、その発表した権利を行使するときに、まわりの友だちや大人に考えてもらいたいことなどを併せて発表し、意見交換を行いました。

【大切だと思う権利】に付記されている( )カッコ内の表記は、  
( 提案シートとの対応 、 対応する検討委員会の 21 項目の小見出し ) を表します。

### Aグループ

#### 【大切だと思う権利】

##### 1. 子どもが経験をする権利 ( テーマ 2-18 、 チャレンジする )

( 理由 )

親が、やりたいことをやらせてくれないときがあり、もっと色んなことをやらせて欲しいから。

( 意見交換など )

- ・まわりの友だちや大人に聞いたら、多くの人が、経験が大切だと言っていた。
- ・何でもチャレンジしてみることが必要だと思う。
- ・自分が新たに経験できていると感じるときは、夏休みの林間学校に参加しているときや、この子ども委員会に参加しているとき。
- ・学校では、理科の実験や遠足、行事などに参加したとき、新たな経験ができた、と感じる。

##### 2. 子どもが自分の夢を自由に持つ権利 ( テーマ 2-17 、 チャレンジする )

( 理由 )

自分の将来の目標を自分で決めて、自分で努力して目標に向かって努力したいから。

( 意見交換など )

- ・まわりの人は、自分の夢がある人は、その夢に向かって自分らしく努力している。
- ・自分の夢は、他人に指図されたり、むりだと言われたくない。
- ・この権利が実現するには、大人が子どもの可能性を認めることが大切だと思う。
- ・職業体験などをたくさん行くと、夢を持つことができるようになり、視野が広がると思う。
- ・夢を持つための情報も手に入れたい。学校では図書室やポスター、パソコン室から情報を手に入れることができる。

## 3. 子どもが豊かな自然でみんなと遊んだりのんびりできる権利（テーマ 2-24、自然）

（理由）

豊かな自然のあるまちで過ごせば、ストレスや病気になることも少なくなると思うから。

（意見交換など）

- ・自分の学校の裏山には自然があり、その自然を活用して遊ぶことでストレスが発散できる。
- ・身のまわりに自然や緑がいっぱいあることは、子どもの共通の願いだと思う。

4. 子どもが成長を見守られ、話を聞いてもらえる権利（テーマ 2-28、<sup>21</sup>相談）

（理由）

何かあったときに助けてくれる存在、自分ひとりで判断がつかないときに相談にのってもらえる存在、自分が思ったことを伝えられる存在が必要だと思うから。

（意見交換など）

- ・友だちに色々相談することも大事だけど、大人に自分の考えを話すことで考え方が広がり、成長できると思う。
- ・友だちに相談したい、と思うときが一番多いけど、学校の中の出来事だと、そうではないときもある。

## 5. 子どもが自分の意思を表現できる権利（テーマ 4-6、意見表明）

（理由）

何かを経験するのも自分の意思が必要で、自由にその意思を表現できることが大切だと思うから。

（意見交換など）

- ・自分が何かの活動するときに、前回の経験が活きる場合が多くあるので、経験はとても大事だと思う。
- ・まわりの人間関係などの環境がよくなないと、自分の意思を表現できないことがある。

## 6. 子どもが教育をしてもらう権利（テーマ 2-6、学び遊び休む）

（理由）

子どもの成長に必要なのは経験で、その経験は人が行動することによってできるのだが、行動するときには知識を手に入れておく必要があると思うから。

（意見交換など）

- ・自分が成長したと思うときは何かを経験したとき。行動の積み重ねが経験となるので、普段からちゃんと行動することが大切。
- ・小中学校では教育を受けるのは当たり前のように思えるけど、小学校の時に不登校の人がいた。早く解決してほしいと思った。

## Bグループ

## 【大切だと思う権利】

## 1. 子どもの命が守られる権利（テーマ 3-該当なし、命と安全、安心）

（理由）

一番大切なのは命だから。

世界を見ると、中には子どもが戦争にも駆り出されていることもあるから。

（意見交換など）

・国がしっかりと保障してほしい。

## 2. 子どもが事件や事故にあわず、安心して暮らせる権利（テーマ 3-8、命と安全、安心）

（理由）

最近、子どもが事件や事故に巻き込まれることが多いので。

（意見交換など）

・不審者がでるので、地域の人にパトロールをもっとたくさん行って欲しいと思う。

・不審者とは、個人の主観にもよると思う。

## 3. 子どもが認められる権利（テーマ 2-23、チャレンジする）

（理由）

失敗してもやり直すことが認められると、自分の意思を伸び伸びと伝えていくことができるから。

（意見交換など）

・今、子どもの表現力が足りないといわれているが、その理由のひとつに、「失敗したらどうしよう」という不安や恐れがあると思う。

・周りの大人が、意見や発表をしやすい環境をつくるのが大切。子どもをもっと受け入れて欲しい。

## 4. 子どもが教育を自由に受けられる権利（テーマ 2-2、学び遊び休む）

（理由）

親の都合ではなく、子どもが自由に自分の学校を決めることができるのが大切だと思う。

（意見交換など）

・将来の仕事を考えて、高校や大学に入る際に、どんな仕事をしたいかを考えるのはとても大事なことだと思う。

・進路に向けて、自分の明確な意思を持つのが大切だと思う。

## 5. 子どもが命を守るために学ぶ権利（テーマ 3-2、命と安全、安心）

（理由）

子どもが、命が守られることはとても大切だけど、自分で自分の命を守るには、知識が必要だから。

（意見交換など）

・防犯対策が大事だと思う。

・110番で身を守ることができる。自分の安全を確保するための正しい知識を身につけることが必要だと思う。

6. 子どもが与えられている権利を正しく知る権利（テーマ 1-20、 学び遊び休む）

（理由）

自分やほかの子どもに与えられている権利を正しく知ることで、自分の権利がきちんと守られていて幸せだな、と思うことができるから。

（意見交換など）

- ・子どもの権利を正しく知ることで、ほかの子の権利を自分が侵害していないか、と考えることができると思う。
- ・学校などの場で、子どもの権利についてさらに詳しく教えて欲しいと思う。

7. 子どもがいつも笑顔でいることができる権利（テーマ 3-該当なし、<sup>21</sup>相談）

（理由）

悩みができれば、すぐ友だちや親に相談して、いつも悩みを隠さないで笑顔でいることが大切だと思うから。

（意見交換など）

- ・悩みがあるときに、無理やり笑顔にすると、いつもの笑顔ではなくなる。
- ・悩みを解決してくれる人がいることが大切。やはり、友だちが一番大事。

## C グループ

## 【大切だと思う権利】

## 1. 子どもが遊ぶ権利 (テーマ 2-3、 学び遊び休む)

(理由)

たくさん遊ばないと体力がつかないので。

(意見交換など)

- ・遊んでばかりいてもダメなので、勉強などやることをやってから遊ぶようにするべきだと思う。
- ・このような権利をつくってしまうと、その内容を子どもが知って、夜遅くまで遊ぶことにはなることもあると思うので、子どもは、権利を押し通すのではなく、限界があることを知ることも大事だと思う。あまり行き過ぎにならないようにしないといけない。

## 2. 子どもが遊んだり勉強したりする場所を選ぶことができる権利

(テーマ 1-23 テーマ 2-16、 自分で決める)

(理由)

いまの学校を選んでとてもよかったと思うし、自分で遊ぶ場所や勉強できる場所を選ぶことができるのは、とてもいいことだから。

(意見交換など)

- ・周りの考えが多様化することが大切だと思う。ピアノをずっとやりたい子がいたら、ピアノをやることのできるような環境になることが大切。
- ・子どもが選ぶことが、よいこととして認められるような環境になることが大事だと思う。

## 3. 子どもの意見が受け入れられる権利 (テーマ 3-該当なし、 意見の尊重)

(理由)

自分がやりたいと思ったことを、ただダメと言われても納得ができないから。

(意見交換など)

- ・大人から説明を受ける権利が子どもにはあって、大人は子どもに説明する義務があると思う。

## 4. 子どもが秘密を持つ権利 (テーマ 1-19、 プライバシー)

(理由)

親だからといって、子どものプライバシーに関わるものを見ないで欲しいから。

(意見交換など)

- ・大人が「子どもだから」という風に子どもを見ないで、一人の人間として子どもを見てほしい。
- ・秘密は、友だちに言うことはできても、親や先生など大人には言いたくない。
- ・親には言ってもいいけど、親から他の人へ広がってしまうかもしれないので、そうなったらイヤだな、と思う。
- ・親にしてみると、まだ小学生くらいまでは成長するうえで不安な点もあると思う。勝手に見られるのはよくないけど、見てもらってもいい、という関係になることが大切なのは。
- ・神戸の事件のように、親が子どもからの発信を発見できなくなったら怖いと思う。

5. 子どもが安全で安心して生きていく権利（テーマ 4-該当なし、命と安全、安心）

（理由）

安全で安心して生きていけると、落ち着いた気持ちや環境になれるから。

（意見交換など）

- ・まわりが安全だととても安心する。
- ・親や地域の人たちが、安全に暮らすことができる環境をつくってくれることが大切。
- ・落ち着いた環境とは、やはり不審者がいないような環境のことを言うと思う。
- ・安全パトロールの人や、防犯ブザー、プロの警備員なども考えて欲しい。

6. 子どもが愛される権利（テーマ 3-4、命と安全、安心）

（理由）

子どもが社会に出て行くことができるように、一人前になるまで親は子どもを愛して欲しいから。

（意見交換など）

- ・「愛する」ということは「甘やかす」ということと違って、悪いことはしかって、いいことはほめる、ということだと思う。
- ・悪いときは、どんどんしかって欲しい。そうしないと、次に、また同じ失敗をしてしまうかもしれない。逆に、いいことをしたときは、ほめてくれるとすごく達成感がある。
- ・甘やかしてばかり、しかってばかりだと、社会に出たときにあまり馴染めなくなると思う。
- ・「甘やかされている」と「愛してくれている」の線引きが難しい。
- ・子どもの側から言うと、どこまでが「甘え」になって、どこからが「我がまま」になるかも分からない。
- ・過保護も困る。

7. 子どもがメディア等から情報を好きなように取り入れることができる権利

（テーマ 3-該当なし、情報提供）

（理由）

子どもでも、知りたいニュースなどがあるから。

（意見交換など）

- ・新聞やテレビなど、「子どもは分からないから」と言わないでほしい。

## 全体での意見交換会

グループごとに話し合った内容について発表をおこなった後、全体で自由に意見交換をおこないました。そのなかでは、子どもの「自分らしさ」と「我がまま」が話題の中心になりました。意見交換会の最後に、検討委員会や札幌市に伝えたいことを発表しました。

## 【主な意見交換】

## 子どもの「自分らしさ」と「我がまま」の違いについて

- ・Cグループで議論になっていた、子どもがこれと言っても許してくれるという「甘え」と、言っても許してくれないという「我がまま」の線引きについて、考えてみよう。
- ・普段の生活では、親や兄弟とかの意見を聞くと、大体「我がまま」になるのかな、というのは分かる。
- ・自分が甘えたいことを認めてもらいたいのであれば、普段の生活に気をつけることが大切だと思う。例えば、家の手伝いをするとか、規則正しい生活を過ごすとか、ほかのことできちんとしていれば、許してくれることもあると思う。
- ・「自分らしく生きる」という権利も、各グループで挙がっていた。「自分らしく」やってもいい場合と、甘えになってしまう場合、また、我がままになってしまう場合など、いくつかの場合が考えられる。
- ・誰に聞いても「いい。」と言ってもらえるのが「権利」だと思う。もしかしてダメかな？と思った場合、それは「我がまま」になると思う。
- ・「個性」や「自分らしさ」というのは、とても難しいと思う。例えば、ピカソの絵は、「変かな」と思う人もいるけど、それがピカソの個性だ。普通は、個性を表に出さずにできると思う人が多いかもしれないけど、個性を出したほうが、より自分のためになると思う。個性を表に出すときに、自分らしさが出てくることになるのだと思う。
- ・「自分らしさ」とは何だろう、と分からなくなることもよくある。

## 検討委員会や札幌市に伝えたいことについて

- ・親がしっかりしていて欲しいな、と思う。
- ・子どもの権利条例は、周りの人が知らなかったら意味がないので、もっと効果的に宣伝して欲しい。ニュースやテレビなど。市長ももっと会見でこのことをしゃべって欲しい。
- ・子どもの権利条例をつくっていることを知らない人も多い。中学校で条約のパンフレットが配られたけど、みんな中まで見ていないので、もっと授業で取り上げて欲しい。
- ・札幌以外にも、北海道で、日本で、この条例づくりの動きが広まればよいと思う。
- ・Aグループの発表の中で、「大人は子どもの可能性を認めて欲しい。」というのがあるが、大人は、可能性がないのに「頑張れば何とかなるよ。」など無責任なことを言って、期待を持たせすぎないようにして欲しい。親は、子どもがどんな力をもっているかが分かるはずなので、子どものありのままを見て、子どものどこが優れているか、優れていないか、長所も短所も教えて欲しい。
- ・「子どもが安全で安心して生きていく権利」というのが多く出ているが、大人が何かをするのではなく、子ども自体が何かをやると思うことが、大切だと思う。子どもが守られてばかりいる権利だと、お互いがちゃんと分かり合えないのではないかと、思う。子どもと大人がちゃんと分かり合って、一緒に生活していくための権利が必要だと思う。
- ・「子どもが される権利」という受身の文ではなく、「子どもが する権利」という、子どもが主体になった権利を多くして欲しいと思う。
- ・条例を広報するときには、「 だよ。」とか、「 かな。」とか、子どもを意識しすぎている語り口調ではなく、ちゃんとした日本語で、丁寧に説明して欲しい。